

Kinoshita Family Concert

2002年1月5日(土) 15:00
紀尾井ホール



上：2000年に製作したCDのジャケット（裏表紙）。
左：2002年1月5日に開催した「Kinoshita Family Concert」のパンフレット。

結婚30周年記念(2001年)企画

木下 利彦
ミック 取締役会長

前年祭(2000年)

「夫婦揃ってCD制作」

1983年に行ったハワイ演奏旅行中、日系人教会でのアンコール曲「ふるさと」を妻が歌い始め

ると、あちらこちらで目頭をぬぐう観客の姿があった。その心に焼きついた光景がきっかけとなり、郷愁を感じる懐かしい曲をCDにして、多くの日系人にプレゼントしようとして、日本コロムビアで20曲収録した。タイトルは『ノスタルジア』、夫婦を振ってネーミングは『Fu-Fu』。

5000枚を製作し、海外日系人協会を通じて1500枚を海外(ブラジル、アメリカ)

に、日本の老人ホームに1500枚を寄贈した。残る2000枚は、テレビ、新聞、雑誌などが宣伝してくれたおかげで完売となった(現在増版中)。国内はもとより、海外からも「とても感動した」と感謝のお便りや写真が届いた。私たち夫婦が予期しえなかった600通余りに及ぶこれらのお便りは、何にもまして心に残る財産となっている。

後年祭(2002年)

「家族揃ってコンサート」

あるコンサートの飛び入りで、息子3人と私のカルテット(バーションョップスタイル)が享けたことを弾みに「ファミリーコンサート」を企画した。息子の2人が海外留学のため、パート譜を収録した音源テープを

送り、各自で自主練習。クリスマス休暇と正月休暇の2週間が全員集合の練習期間。そして1月5日の本番を迎えた。プログラムは、各人のソロやデュエット、トリオ、カルテット、クインテットと手を代え品を代え……。心臓がいくつあっても足りないくらいドキドキしながらも、それぞれ無事ステージを終え、大きな拍手をいただいた。コンサート成功を目指し、気持ち合わせ、声を合わせ練習してきたことは、家族の絆を大切にできた充実した期間でもあった。

